

みなさん、こんにちは！生徒会本部役員です。
9月上旬に玉村町からリサイクルダンボールを再利用できないかという課題を本校に与えられ、生徒会本部役員で考えた結果、被災地の避難所で活用できないかという意見がでました。そこで、1学年76名のみなさんにその取組に協力してもらえないかと打診したら、快く引き受けてもらうことができました。

ダンボールプロジェクトの第1回は10月15日、第2回は10月21日に行いました。そのときの様子を掲載します。

ダンボールプロジェクト

目的

ダンボール製作から、集団内での役割を理解して、できること、できないことを分別し、他社と協力する姿勢を育成する。多様な他者を認めて、思いやりと誠実な気持ちを大切に、より良い人間関係を気付く力を育成する。

社会や集団の一員として、よりよい生活づくりに参画する態度を育成する。

実施報告

1時間目では、『東松島市からのメッセージ』という動画を視聴し、その当時に経験・体験したことを思い起こし、感じたこと・考えたことを記録しました。また、班別協議をしたことで『被災地に必要なことは何か？』について、真剣に考える良い機会となりました。

2時間目には、班別で協議した内容を発表することで班ごとの視点でいろいろな考えがあることがわかり、その考えを共有することができました。班別で協議を続けたことで今まで知らなかった友人の新たな一面も発見をすることができました。

